

# ソルバング精神障がい者生活ホーム

お話し：施設長 Ms. Anne

報告者：小泉 貴啓



## ★ソルバングの入居者

ソルバングは、社会福祉サービス法 108 条に基づいて事業を行っており、社会精神住宅として、精神疾患の診断を受けた人だけでなく、日常生活を自分でクリアできない人、他の人との交流がうまくとれない人など、いろいろなタイプの人都在这里生活しています。スタッフもいろいろなタイプの入居者をケアできることが要求されます。

入居できる戸数は 30 戸で、希望があれば、何年でも入居することが可能です。他にサービス法 107 条に定められるショートステイ用として 2 室あります。

3つのユニットで構成され、それぞれのグループで、入居者たちにより民主的に物事を決め、生活しています。

## ★ソルバングの現状

デンマークの行政はどの自治体も財政難から節約モードに入っており、ソルバングも入居からショートステイへのシフトを計画しています。

現在の入居者はそれぞれ、非営利住宅協会と家賃契約しているため、それをかえることはできませんが、空いている土地に新たにパビリオンを作り、ショートステイと、地域に住んでいる精神疾患を



持った方たちのサテライトとしての機能を持たせたいと思っています。

以前は、デンマークの福祉行政は豊かでしたが、今はやはり、財源が少なくなってきた現状があります。別の角度で物事を考え、限られた財源の中で、どうすれば今と同じようにやっていけるかを考える必要があります。

今まで年金をもらって生活をしてきた人も、少しでも仕事ができる人は仕事をするといい、受け身ではなく、「能動体になりましょう」という方向に変わりつつあります。

### ★サービスについて

場所とサービスを売っています。ソーシャルワーカーが作成する、ここで必要とサービスやトレーニングの計画に沿って、サービスを提供し、それに対して自治体から収入があるというかたちになります。ショートステイの期間についても、ソーシャルワーカーが必要な期間を決めることになります。

また、空き部屋が出来ないように、いいサービスを提供する必要があります。

### ★スタッフについて

職員数は約40名で、3シフトで業務を行っています。

介護士と生活指導員が半々で、非常にうまくかみ合わさっています。

また、他の人と同じように、入居者はそれぞれホームドクターをもっています。精神疾患を持っていても、国民全員が同じ社会的権利を持って生活しています。

### ★感想

施設長のお話からは、財源が少なくなってきた現状から、限られた中でもサービス低下がないようにと運営に苦慮されている様子が伺えました。

「サービスを売っている。」というこの言葉からもデンマークの福祉が表れていると思いました。

